連携グループ			保護者支援グループ		
1	スローウオーク	西村　徹	1	そらまめはうす	大野　直人
2	社会福祉課	細見　貴誠	2	出石精和園	島田　真弓
3	学校教育課	宿南　恵介	3	障害者基幹相談支援センター	渡邊　佳子
4	ポッシュ	木村　弥生	4	絆	武知　直也
5	社会福祉協議会	山田　美智子	5	出石精和園	西村　尚司
6	ひみつきち	加藤　泰彦	6	北但広域療育センター	真狩　洋子
7	こども未来課	福田　寛子	7	はばたけ手をつなぐ育成会	成尾　美恵
※	社会福祉協議会	森　由佳	8	こども未来課	山﨑　美紀
			※	社会福祉協議会	森　由佳

※部会長

こども部会

こども部会の組織図

自立支援協議会
全体会議

自立支援協議会
・ちょうせい会議
・報告会議

こども部会
全体ミーティング

こども部会
代表者会議

連携グループ
事業：情報交換会・連携
スタッフのスキルアップ

保護者支援グループ
事業：お話カフェ
居場所の検討

現状と課題

連携が必要　：　連携グループの課題

子どもに関わる関係機関の情報交換会

・保健・教育・福祉が連携し、地域全体で子どもに関わって欲しい。
・市の福祉サービスが分かりにくい。

療育卒業後の居場所　：　保護者支援グループの課題

障害のあるお子さんが安心して過ごせる居場所

・思春期年代が利用できる福祉サービスや居場所が少ない。
・中高生が自宅以外でも安心して過ごせる場所の選択肢が欲しい。

保護者の支援が必要　：　保護者支援グループの課題

保護者の相談できる場づくり

・ライフステージごとの親の悩みに寄り添ったり、どの年代でも相談できる場所や存在が欲しい。
・ひとりで抱え込まず、保護者同士の横の繋がりを持ち、気軽に相談できる存在が必要。
・親や祖父母が安心して、自信をもって子育てできるようになりたい。

今年度、目標にしてきたこと

子どもに関わる関係機関の情報交換会

- 関係機関がお互いを知り、横のつながりを持ち続けることで、日頃の業務や支援に繋げることができる。
- 保健・教育・福祉と連携し、チームで支える仕組みができないか。
- 福祉サービスについて、市民に分かりやすく情報を提供する。

障害のあるお子さんが安心して過ごせる居場所

- 思春期だけでなく、どの年代のお子さんにも必要な福祉サービスや居場所の情報提供ができる。
- 福祉サービスに限らず、地域の社会資源を知る。
- 本人のライフステージを切れ目なく、支援していきたい。

保護者の相談できる場づくり

- ライフステージごとの親の悩みに寄り添ったり、ひとりで抱え込まず気軽に相談できる保護者同士の横の繋がりの場をつくる。
- お話カフェを実施し、テーマを決めた学び合いや気軽に情報交換できる場を設定したり、施設見学を兼ねて、いろいろな事業所で実施する。

2024年度下半期の取り組み①

【お話カフェ】

日にち	場所	テーマ	講師	参加者数	スタッフ数
11/20	らみい	「小学校の就学について準備すること」	豊岡市教育委員会 冨山先生 宿南先生	11人	9人

【情報交換会】

日にち	場所	テーマ	講師	参加者数	スタッフ数
10/25	立野庁舎	・セルフプランの現状と課題 ・学校・関係機関の連携、事業所のスキルアップや研修、困っていること		27人	5人

【居場所意見交換】

日にち	場所	テーマ	講師	参加者数	スタッフ数
9/27	立野庁舎	・意見交換 ・地域の社会資源を知る	ユースソーシャルワーカー 片野 昭氏 豊岡市地域おこし協力隊 石原 光氏		9人

2024年度下半期の取り組み②

- こども部会　全体ミーティング：１月27日（月）参加者…14人（傍聴者…２人）
- 代表者会議：12月20日（金）参加者４人
- グループ会議：保護者支援グループ　11月26日（火）参加者…９人
  連携グループ　12月５日（木）参加者…７人

今年度の活動ふりかえり
来年度に向けて

子どもに関わる関係機関の情報交換会

- 関係機関がお互いを知り、横のつながりを持ち続けることで、日頃の業務や支援に繋げることができる。
- 保健・教育・福祉と連携し、チームで支える仕組みができないか。
- 福祉サービスについて、市民に分かりやすく情報を提供する。

横の繋がりが必要との声が参加者から多く聞かれた。

保健・教育分野からも、福祉サービスに関する情報が欲しいとの声聞かれている。

来年度も取り組み継続

障害のあるお子さんが安心して過ごせる居場所

- 思春期だけでなく、どの年代のお子さんにも必要な福祉サービスや居場所の情報提供ができる。
- 福祉サービスに限らず、地域の社会資源を知る。
- 本人のライフステージを切れ目なく、支援していきたい。

様々な居場所(地域活動支援センターも含め)を知ったが、十分に把握できていなかった。

中・高校生が安心して過ごせる居場所(地域の社会資源)を知り、活用に繋げられる情報収集をしていきたい。

来年度も取り組み継続

保護者の相談できる場づくり

- ライフステージごとの親の悩みに寄り添ったり、ひとりで抱え込まず気軽に相談できる保護者同士の横の繋がりの場をつくる。
- お話カフェを実施し、テーマを決めた学び合いや気軽に情報交換できる場を設定したり、施設見学を兼ねて、いろいろな事業所で実施する。

保護者会が開催されている事業所が複数あり、似たような活動をしている事が分かった。

取り組みは一旦中断し、市内で開催している事業所での具体的な取り組み状況についてアンケート調査し、情報発信していく。